

年齢及其ノ手當額ヲ記載スベシ但シ個人票ニ特別手當欄ヲ設ケタルトキハ特別手當額ノ作成ヲ要セズ生産家帳ハ令第十五條ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ作成シ其ノ様式ハ第二十一號ニ依ルベシ

昇給家帳ハ令第十六條ノ認可ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ作成シ其ノ様式ハ第二十二號ニ依ルベシ

雇傭主地方長官ノ許可ヲ受ケタルトキハ個人票ニ付キ第二項ノ様式ト異ル様式ヲ用フルコトヲ得前項ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニハ雇傭主ノ用ヒントスル様式及申請ノ理由ヲ具スベシ

第三十七條 賃金家帳ノ記入ハ個人票及特別手當家帳ニ在リテハ毎月ノ賃金又ハ第二十一條第一號ノ手當ニ付翌月末日迄ニ之ヲ爲シ、總括票及生産家帳ニ在リテハ毎月ノ賃金又ハ生産量ニ付翌月末日迄ニ毎賃金總額計算期間ノ賃金又ハ生産量ニ付其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ之ヲ爲シ、昇給家帳ニ在リテハ毎月昇給額ノ昇給額ヲ昇給期ノ翌月末日迄ニ之ヲ爲スベシ

第三十八條 同一ノ工場、事業場、事務所其ノ他ノ場所ニ於テ當時三十人以上ノ勞務者ヲ雇傭スル雇傭主ハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ様式第十七號ニ依リ總括票ヲ作成スルモノニ在リテハ毎賃金總額計算期間ノ賃金家帳(總括票)ノ寫ヲ其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ様式第十九號ニ依リ總括票ヲ作成スルモノニ在リテハ毎月ノ賃金家帳(總括票)ノ寫ヲ翌月末日迄ニ地方長官ニ報告スベシ

第三十八條ノ二 令第十五條ノ認可ヲ受ケタル雇傭主ハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ毎賃金總額計算

期間ノ生産家帳ノ寫ヲ其ノ期間終了ノ翌月末日迄ニ地方長官ニ報告スベシ

第三十八條ノ三 令第十六條ノ認可ヲ受ケタル雇傭主ハ令第三十一條第一項ノ規定ニ基キ毎昇給期ノ昇給家帳ノ寫ヲ其ノ昇給期ノ翌月末日迄ニ地方長官ニ報告スベシ

第四十一條中「第二十六條第一項」ヲ削除

様式第一號記載注意中「工業分類(小分類)」ヲ「工業分類(中分類)」ニ改ム

様式第二號中記載注意第一號ヲ第二號トシ第二號ノ前ニ左ノ一號ヲ加フ

一、事業ノ種類ハ工業ニ在リテハ工業分類(中分類)ニ依ル事業ノ名稱ヲ、其ノ他ノ事業ニ在リテハ成ル可ク詳細ニ事業ノ名稱又ハ主要生産品名ヲ記載スルコト

様式第三號、様式第十二號及様式第十五號中記載注意トシテ左ノ一號ヲ加フ

一、事業ノ種類ハ工業ニ在リテハ工業分類(中分類)ニ依ル事業ノ名稱ヲ、其ノ他ノ事業ニ在リテハ成ル可ク詳細ニ事業ノ名稱又ハ主要生産品名ヲ記載スルコト

様式第四號乃至様式第八號、様式第十三號、様式第十四號及様式第十六號乃至様式第十九號ヲ別紙ノ如ク改ム
様式第九號乃至様式第十一號 削除
様式第二十一號及様式第二十二號ヲ別紙ノ如ク定ム

附則

本令ハ昭和十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

(別紙様式省略)

賃金統制令施行規則に關する厚生省

告示

賃金統制令施行規則に依る賃金統制令の手當に關する指定は、昭和十八年六月二十八日付官報を以て左の如く告示せられた。

厚生省告示第三百一號

賃金統制令施行規則第二十一條第一號ノ規定ニ依リ賃金統制令第十四條第一項ノ賃金ニ含まザル手當ヲ左ノ通指定シ昭和十八年七月一日ヨリ之ヲ施行ス但シ第九號ノ手當ハ地方長官又ハ鑛山監督局長ノ承認ヲ受ケタルモノニ限ル

昭和十八年一月厚生省告示第三十一號ハ之ヲ廢止ス

一 應召手當 陸軍召集規則第二條第一項又ハ海軍召集規則第三條第一項ノ召集ニ應召中ノ勞務者ニ對シ支給スル手當

二 入營手當 現役在營中ノ勞務者ニ對シ支給スル手當

三 軍事參會手當 徵兵検査ノ身體検査、簡閱點呼又ハ帝國在郷軍人會則第十條第二號イ、ロニ掲グル訓練(一年ニ付四十時間ヲ超エザル訓練)ヲ受クル勞務者ニ對シ身體検査、簡閱點呼又ハ訓練ノ當日若ハ時間ニ付支給スル手當

四 應徵手當 國民徵用令ニ依リ徵用中ノ勞務者ニ對シ支給スル手當

五 家族手當 勞務者ニ對シ其ノ配偶者(届出ヲ爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含ム)又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ直

系尊屬、滿十八歳未滿ノ直系卑屬及弟妹若ハ不具發
疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持ス
ルモノ一人ニ付月額五圓ノ割合ニ依リ計算シタル金
額以內ニ於テ支給スル手當

六 精勤手當 一定期間精勤シタル勞務者ニ對シ一月

ニ付基本給三分分又ハ標準報酬日額ノ二分分ノ割合

ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

七 臨時休業手當 雇主臨時ニ休業ヲ命ジタル勞務

者ニ對シ其ノ休業ノ日又ハ時間ニ付支給スル手當

八 防空勤務手當 所定就業時間外ニ於テ工場又ハ事

業場ノ防空勤務ニ服シタル勞務者ニ對シ勤務ノ都度

支給スル手當

九 稼働率及能率増進ノ爲ニスル手當

〔参照〕 昭和十八年一月二日厚生省告示第三十一號ハ本號

ト同伴ナリ

厚生省告示第三百二號

賃金統制令施行規則第二十五條ノ五第三號ノ規定ニ
依リ賃金統制令第十六條第二項ノ認可ヲ受クルヲ要セ
ザル手當ヲ左ノ通指定シ昭和十八年七月一日ヨリ之ヲ
施行ス

一 應召手當 陸軍召集規則第二條第一項又ハ海軍召

集規則第三條第一項ノ召集ニ應召中ノ勞務者ニ對シ

支給スル手當

二 入營手當 現役在營中ノ勞務者ニ對シ支給スル手

當

三 軍事參會手當 徵兵検査ノ身體検査、簡閱點呼又

ハ帝國在郷軍人會則第十條第二號イ、ロニ掲ゲル

訓練(一年ニ付四十時間ヲ超エザル訓練ヲ受クル勞
務者ニ對シ身體検査、簡閱點呼又ハ訓練ノ當日若ハ
時間ニ付支給スル手當

四 應徵手當 國民徵用令ニ依リ徵用中ノ勞務者ニ對

シ支給スル手當

五 家族手當 勞務者ニ對シ其ノ配偶者(届出ヲ爲サ

ザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル者ヲ含

ム)又ハ本人ト同一戸籍内ニ在ル滿六十歳以上ノ直

系尊屬、滿十八歳未滿ノ直系卑屬及弟妹若ハ不具發

疾者ニシテ主トシテ本人ノ收入ニ依リ生計ヲ維持ス

ルモノ一人付月額五圓ノ割合ニ依リ計算シタル金額

以內ニ於テ支給スル手當

六 精勤手當 一定期間精勤シタル勞務者ニ對シ一月

ニ付基本給三分分又ハ標準報酬日額ノ二分分ノ割合

ニ依リ計算シタル金額以內ニ於テ支給スル手當

七 臨時休業手當 雇主臨時ニ休業ヲ命ジタル勞務

者ニ對シ其ノ休業ノ日又ハ時間ニ付支給スル手當

八 防空勤務手當 所定就業時間外ニ於テ工場又ハ事

業場ノ防空勤務ニ服シタル勞務者ニ對シ勤務ノ都度

支給スル手當

國民勤勞報國協力令中改正ノ件公布

昭和十六年十一月公布をみた國民勤勞報國協力令に
ついては本誌第二卷第十二號本欄所報の如くであるが、
決戦下國民勞力の總動員要請に應ずべき司令中一部改
正の勅令は、昭和十八年六月十九日付官報を以て左の
如く公布せられた。

國民勤勞報國協力令中改正ノ件

(昭和十八年六月十八日
勅令第五百十五號)

國民勤勞報國協力令中左ノ通改正ス
第二條中「東京府」ヲ「東京都」ニ改ム
第三條第一項中「四十年」ヲ「五十年」ニ改ム
第四條中「三十日」ヲ「六十日」ニ改ム

第六條中「市町村長ニ準ズベキモノヲ含ム」ヲ「市町村
長ニ準ズベキモノヲ含ミ東京都ノ區ノ存スル區域ニ在
リテハ區長トス」ニ改ム

第十四條中「東京府」ニ在リテハ「警視總監及東京府知事
トス」ヲ「東京都」ニ在リテハ「東京都長官及警視總監ト
ス」ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス
但シ第二條第六條及第十四條ノ改正規定ハ昭和十八年
七月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔参照〕

昭和十六年十一月二十日 勅令第九百九十五號國民勤勞
報國協力令抄録

第三條第一項

國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムベキ者ハ帝
國臣民ニシテ年齢十四年以上四十歳未滿ノ男子及
年齢十四年以上二十五年未滿ノ女子(妻及届出ヲ
爲サザルモ事實上婚姻關係ト同様ノ事情ニ在ル女
子ヲ除ク)トス

第四條

國民勤勞報國隊ニ依ル協力ヲ爲サシムル期
間ハ命令ノ定ムル所ニ依リ一年ニ付三十日以内ト
ス

前項ノ期間ハ特別ノ必要アル場合又ハ本人ノ同意
アル場合ニ於テハ三十日ヲ超ユルコトヲ得

第六條

厚生大臣又ハ地方長官ハ前條ノ規定ニ依ル